

揚水ポンプ「かんがい期始めの点検・日常点検」

かんがい期「初めの点検項目」

1・吸水槽清掃

- 1) ポンプ運転前には必ず吸水槽の清掃を行うこと
理由：堆砂による吸込障害防止
- 2) 吸水槽に砂及びゴミ等が無いか確認すること
理由：ゴミが吸込まれ主ポンプの分解清掃が必要となるため

2・主ポンプの状態確認

- 1) カップリング部にゴムのカスが無いか確認
理由：芯出し不良による主ポンプ破損を未然に防ぐため
- 2) ドレン配管の詰り確認
理由：グランドパッキンからの排水が軸受部へ浸透し軸受を錆びさせることによる軸受破損につながるため

3・制御盤の状態確認

- 1) 盤面表示灯に異常が無いか確認（主ポンプ故障等）
理由：主ポンプが起動しない可能性が高いため
- 2) 制御盤に発錆が無いか確認
理由：盤内機器が湿気等により劣化が進行してしまうため

「日常」の点検項目

1・吸水槽の確認

- 1) 砂及びゴミ等が堆積していないか確認
理由：ゴミが吸込まれ主ポンプの分解清掃が必要となるため

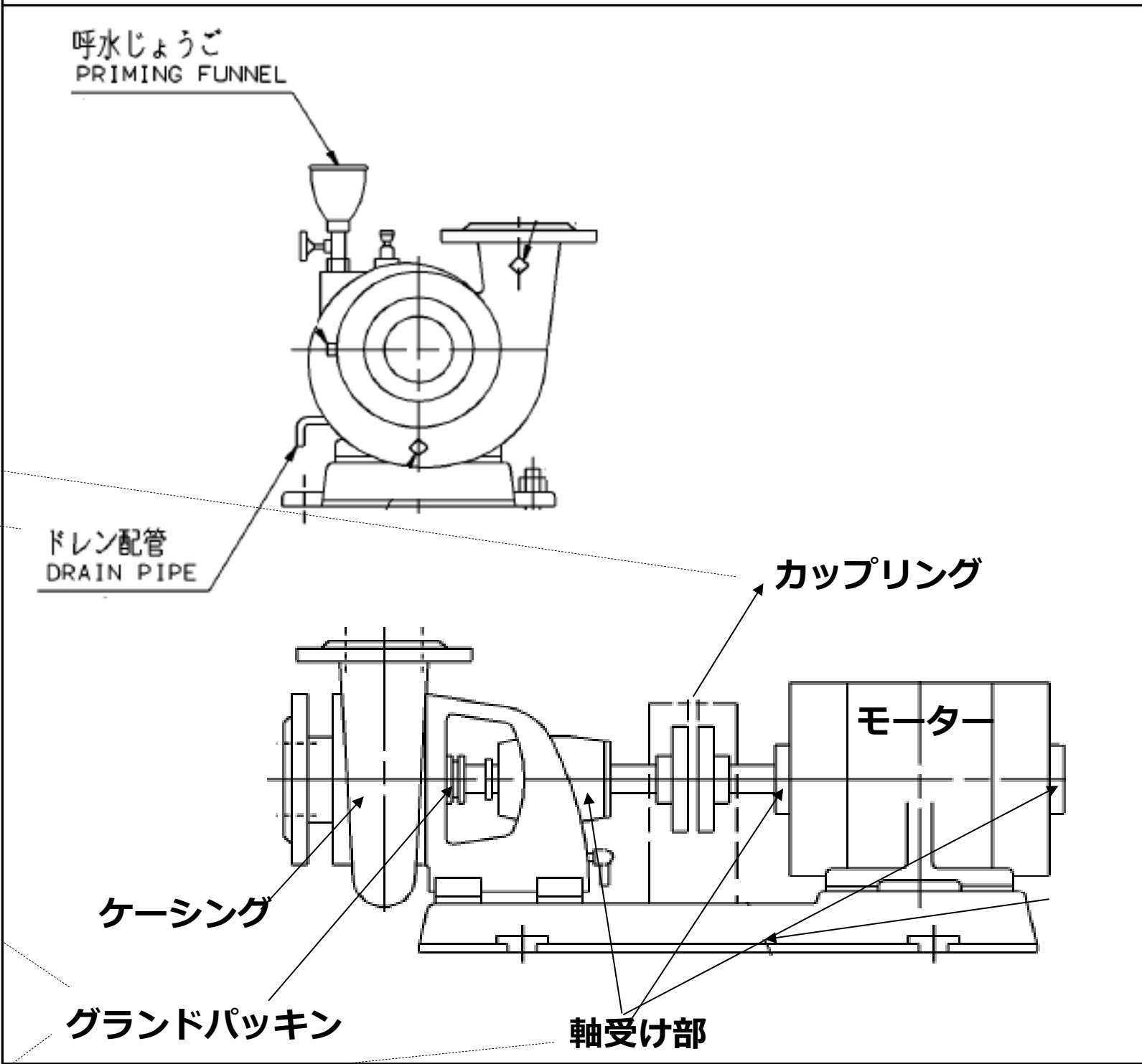
2・主ポンプの状態確認

- 1) 軸受け部の異音、発熱が無いか確認
理由：軸受の劣化が進行すると異音及び発熱として症状があらわれ異音、発熱が見受けられた場合は軸受の交換が必要となる。
- 2) グランドパッキン部より適量の水が出ているか
＊毎秒1滴程度

3・制御盤の状態確認

- 1) 盤面表示灯に異常が無いか確認（主ポンプ故障等）
理由：主ポンプが起動しない可能性が高いため

各部名称図



ポンプ起動時の「パイプライン」に対する影響と送水注意点

充水の必要性

- ・ポンプ等で送水する際に、パイプラインが満水状態になる前に、ポンプ吐出側の仕切弁（バルブ）を全開で送水すると、パイプラインを損傷する可能性が高い
- ・かんがい期初めや、ポンプを再起動する際には、パイプライン末端のバルブを5箇所程度、そして排泥バルブは全開しておいてください
- ・そして仕切弁の開度は最初は15%を目安に開け、ゆっくり送水を行ってください
- ・パイプライン末端や排泥バルブよりエアが出ない状態となりましたら、仕切弁を全開して送水します